



上石小だより

～ やさしさ かしこさ たくましさ ～

第 10 号

令和 5 年 2 月 1 日
練馬区立上石神井小学校
校長 片山 順也

日の出を見て

校長 片山 順也

1月の後半には、この冬一番の寒気が日本列島を包み込み、東京でも最低気温が氷点下となる日が続きました。本校のプールにも氷が張り、校庭にある水道の水も凍って、早朝は一時水が出なくなっていました。休み時間には、トンボ池に張った氷を珍しそうに眺めている子もたくさんいました。

そのような寒い日が続く中、1月21日（土）の早朝、本校中校舎屋上で、「学校の屋上で上石神井の日の出を見よう！」という企画が行われました。この催しは、上石神井小学校しぜん探検隊の方々の主催で、3年ぶりに行われたものです。この上石神井小学校しぜん探検隊は、子供たちとその保護者、卒業生、教職員、地域の方などの有志によって平成11年に設立されました。プール前のトンボ池をつくることから始まり、身近な自然を見つめ直し、積極的に生き物呼び戻す活動を続けています。今では6月の「ヤゴ救出大作戦」、12月の「オリジナルリース作り」などの活動も行い、上小の子供たちに身近な自然を体感させてくださっています。

この「日の出を見よう！」の企画は、コロナ禍や天候などにより中止となった年もありましたが、今年で20回目となるそうです。当日には、午前6時過ぎから屋上に子供たちや保護者の方など200人以上の方が集まりました。これは、過去最高の人数だそうです。

日の出を待つ間は、冷たく強い風が吹いており、大変寒かったのですが、そのお陰で雲一つない快晴となり、7時前に都庁の横から太陽が顔を出し始めました。日の出とともに太陽の明るさが空全体を包み、急に暖かさも増してきて、今更ながら太陽の偉大さを実感いたしました。太陽と反対の方角には、全身に雪をまとった富士山が薄い赤色に染まり、こちらも雄大な姿を見せていました。

当然のことながら毎日のように、日の出と日の入りはあり、富士山は存在しているのですが、改めてじっくり見ることができて、心が洗われる気分を体感しました。

今では、大抵のことはインターネット上で検索すれば簡単に情報を得ることができ、きれいな日の出や富士山などの画像や映像を瞬時に見ることができます。しかし、実際に自身の目でじかに見る経験には、全くかなわないのではないかと思います。

上小の子供たちには、映像や画像だけで、分かった気持ちになるのではなく、実際に見たり、触ったりすることを通して体全体で、外の世界を感じながら、心豊かに育ててほしいと改めて願う朝となりました。

2月行事予定

1(水)	安全指導 理科見学(4)	14(火)	社会科見学(4)	能楽教室(6)
2(木)	起震車体験(4) 56h	15(水)	B時程4時間	
3(金)	新一年生保護者会	17(金)	社会科見学(6)	
6(月)	クラブ(3年生見学)	20(月)	クラブ	
7(火)	たてわり班活動	21(火)	ユニセフ募金活動	
8(水)	社会科見学(5)	22(水)	ユニセフ募金活動	
9(木)	社会科見学(5)	27(月)	委員会(3月分)	
10(金)	校内書き初め展終 B時程5時間	28(火)	6年生を送る会 34h	
13(月)	クラブ(3年生見学)			

4年生より

昨年の4月、教室のある4階まで階段を上るだけで、毎朝、息を切らしていた子供たち。3学期になった今も、息が上がることは変わりないですが、その表情や体つきは、ぐっと高学年に近づきました。言葉遣いや周りの状況へのアンテナの張り方、やるべきだと思うことをさっと行動に移す行動力を見ていると、子供たちの成長をしみじみと感じます。そして、4月から始まる南校舎での生活、高学年としての活躍への期待に、胸が高鳴ります。

子供たちの足跡を振り返ると、行事を通しての成長があります。体育学習発表会では、フラフープの技の習得を目指して一人一人が努力するだけでなく、実行委員やグループリーダーを中心に、集団として自分たちで活動を進めていく力を付けました。うまくいかずに悩む場面があっても、持ち前の明るさと仲のよさで課題を打開しながらぐんぐん前進する姿は、とても頼もしいものでした。そして、保護者の方々から「よかったよ」「すてきだったよ」と温かいメッセージをたくさんいただいたことで、自分たちの達成感を自信に変えていくことができました。

また、学習発表会では、それぞれの持ち場や役割が違うという難しさの中でも「みんなで一つのものをつくる」という意識をしっかりと持って練習に取り組み、本番、堂々と舞台上に立てたことに、私たち学級担任も強く心を動かされました。そして、こうした飛躍を支えたのは、日々の友達との関わりや毎日の学習の積み重ねだと、今、強く感じています。

高学年への階段を一段一段しっかりと上れるように、自分たちが積み重ねてきたものの大きさや価値を振り返って自信にしながら、4年生としての残りの毎日を過ごしていきます。

2月の生活目標 寒さに負けない体をつくろう

寒さの厳しい日が続いています。それでも中休みには、多くの子供たちが外に出て元気に遊んでいる姿が見られます。寒くても外に出て体を動かして遊ぶことは、寒さに負けない体を作ることにつながります。これからも元気に外遊びを続けましょう。体を動かすと、運動後は寒い冬でも汗をかくことがあります。肌着を着て、汗をかいたら拭き、風邪をひかないようにしましょう。

また、好き嫌いをせずバランスのよい食事をしたり、早寝早起きを心掛け規則正しい生活をしたりして、抵抗力を高めましょう。

まだまだコロナやインフルエンザが流行っているこの時期、学校では、手洗い、マスクの着用、衣類の調節など『自分の体をまもるための行動』と、大人数、大声、至近距離での会話をしないなど『他の人につさせない行動』の指導を引き続き行っています。ご家庭でも、登校前の健康観察、ランドセルにマスクの常備などのご協力をお願いいたします。

お知らせ 年度末に転出予定のある方は、学級担任までご連絡ください。